

人工翻訳 + 翻訳後骨格変換で 擬天然ペプチド薬剤候補をつくる

日時

2026年6月15日（月） 14:00 ~ 15:00

開催形式

Zoomウェビナー（聴講登録頂いた方にURLをセミナー前日までにメールでお知らせします）

聴講登録

<https://forms.gle/rVQeiMpQxet6pr547>

登録〆切：2026年6月12日（金）17:00

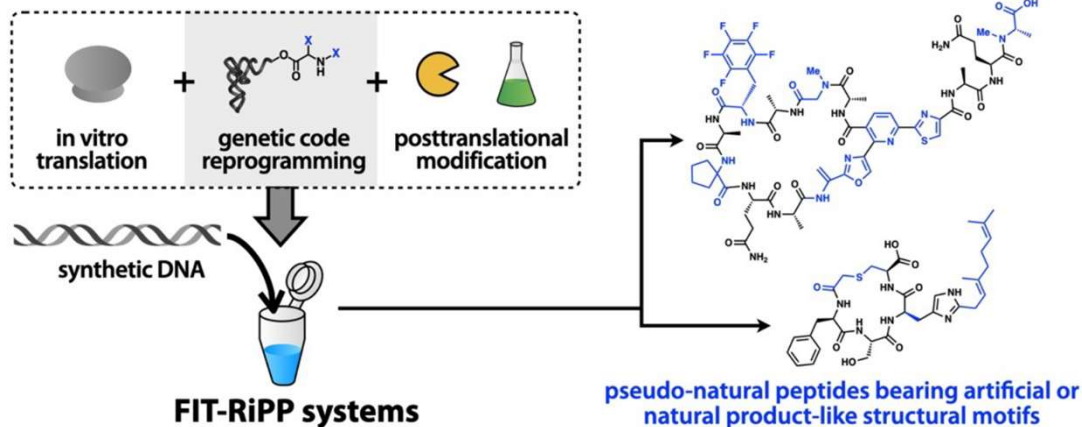


講演

人工翻訳 + 翻訳後骨格変換で擬天然ペプチド薬剤候補をつくる

後藤 佑樹

京都大学 大学院理学研究科 化学専攻 教授



我々は、人工改変翻訳系と多段階の化学的・酵素的翻訳後修飾を組み合わせることで、天然物ペプチド由来に特徴的な局所構造を備えた「擬天然ペプチド」を試験管内で簡便に合成する人工合成系を開発してきた。本講演では、多様な天然物様骨格を有する擬天然ペプチドの合成技術と、生物活性を示す人工分子の創製例について紹介する。

クロストーク & QA

「アカデミアにおける教育・基礎研究と産学連携の接点」

後藤 佑樹

京都大学 大学院理学研究科 化学専攻 教授

池田 幸樹

京都大学 成長戦略本部 特定拠点助教

MC/森山 さくら

京都大学 高等研究院 日本学術振興会特別研究員

